

# **ATF** Automatic Transmission Fluid **COOLER**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

## 取 付 説 明 書

NCP30,31,35

bB

# **BLITZ**

# 目次

① はじめに	1
② 安全上のご注意	1
③ 取付前後の注意事項	2
④ 構成部品及び付属品リスト	3
⑤ ATFの取付に際して	4
⑥ ATFクーラー取付手順	5
⑦ 取付後の確認	8
⑧ 故障と思う前に	9
⑨ メンテナンス	9

## ① はじめに

- この度は弊社商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
- この取り扱い説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。
- 本書はいつでも取り出して読めるように車内に大切に保管してください。
- 取り扱い説明書は、必ず使用者にお渡しください。
- 注意事項および使用上の注意は必ず守って使用してください。
- 装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良や動作不良で故障の原因になる場合がありますので注意して下さい。
- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂く為に守って頂きたい事項を示しています。本文中の内容をよく理解してから作業を行ってください。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ② 安全上のご注意

この取り扱い説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- 換気の良い場所で取付作業を行ってください。
- 換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付ないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取付作業を行ってください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取りはずしてください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。そのまま使用すると、車両の故障や破損の原因となります。

- この製品の取付時に、エンジンルーム内や車両下面の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・駆動系・車両の破損の原因となります。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- この製品の取付は、必ず専門業者に依頼してください。取付には専門の知識と技術が必要です。
- この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- この製品の加工・改造は行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
- この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたり、動作不良を起こしたりする事があります。
- 取付作業のために一時的に取りはずす純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- 当社は取付作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

### ③ 取付前後の注意事項

- 製品および関連部品の取付はフロントバンパー等の脱着作業に伴い、専門の知識、加工技術、特殊工具が必要です。取付は必ず専門店で行ってください。
- 適合車種以外の車両への取付は絶対に行わないでください。
- 製品取付後、車両に異常を感じた場合は走行中を問わずただちに運転を中止し、エンジンを停止してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

## 注意

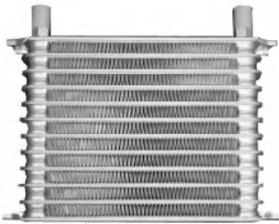
パーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切責任を負いません。指示のない部品は、必ず自動車メーカーの該当する純正部品をご使用ください。

製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

## 警告

この部品は競技用特殊部品につき、クレーム返品には応じかねます。また、仕様・価格、その他の変更は予告なく行うことがあります。

#### ④ 構成部品及び付属品リスト

 <p>ATFクーラー コア 1個</p>	 <p>クーラーホース #10 ストレート 700mm 1個 90° - 880mm 1個</p>	 <p>コルゲートチューブ 1000mm</p>
 <p>ステーNO, 1 1個</p>	 <p>ステーNO, 2 1個</p>	 <p>ステーNO, 3 1個</p>
 <p>トライドン 大 2個 トライドン 小 2個</p>	 <p>異形パイプφ8-14.3 2個</p>	 <p>タイラップ 5本</p>
 <p>φ6ゴムキャップ 2個</p>	 <p>フランジ付きM6ボルト 8個 フランジ付きM6ナット 7個</p>	 <p>取り扱い説明書 1個</p>

## ⑤ ATFクーラーの取付に際して

ブリッツ・ATFクーラー・キットは、指定された車種以外には取付ないでください。取付は弊社の指示に従ってください。

また、指示の無いものに関しては各自動車メーカーの整備書等をご参照ください。

ブリッツ・ATFクーラー・キットの取付を行う場合、コア、ホース容積分と交換作業で減る分のATFオイルが必要になります。キット交換後は、油量を適量まで入れてください。

油量の点検はレベルゲージで行います。ゲージにはH（ホット）とC（クール）の面がありますが油温70℃以上の場合はH側のゲージで行ってください。またATFを入れ過ぎますと、ギアによりATFが攪拌（かくはん）されて泡立ってしまい作動不良を起こします。点検は平地で行ってください。

走行距離6万キロを越す車両で、ATFを無交換で走行した車両は、AT内に多量の汚れが堆積していることが多く、清浄性の高い新油に交換しますとライン、弁などの目詰まりの原因になることがありますので、注意して下さい。

ブリッツ・ATFクーラー・キットの取付を行う際に、ホース、コアにホコリや水、ゴミ等が混入しないよう気をつけて作業を行ってください。目詰まり等を引き起こし作動不良の原因になります。

### 警告

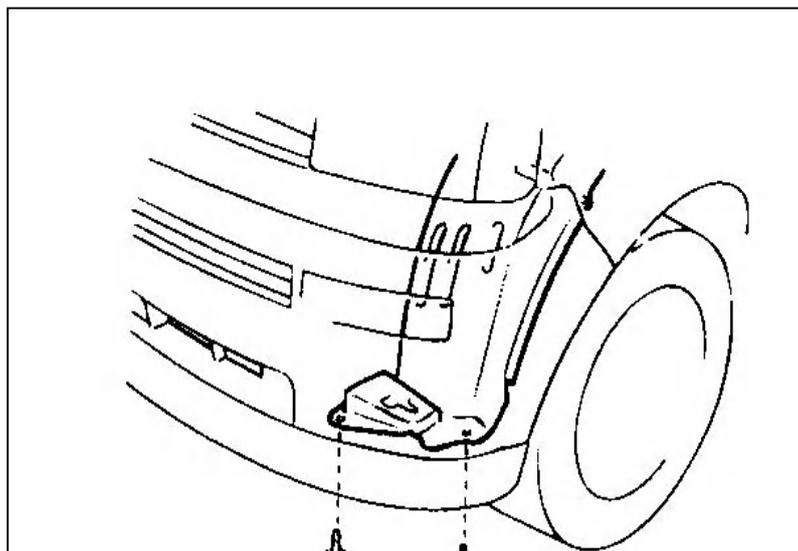
取付を行う前に必ず本書をよく読んでから作業に入ってください。

- 作業のため、一時的に外す部品は充分注意して保管してください。特に汚れを嫌う部品および箇所についてはゴミ・ホコリ等に注意してください。
- 配線用カプラー・コネクタは破損・断線に注意して取り外し、保管してください。
- 一時的に外す部品は、間違っ取付ないようマーキング等をしておいてください。電気ショートによるトラブルを避けるため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を始めてください。
- ガレージジャッキ、リジトラック、リフト等は所定の場所に確実に掛けてください。取付後の点検は必ず行ってください。

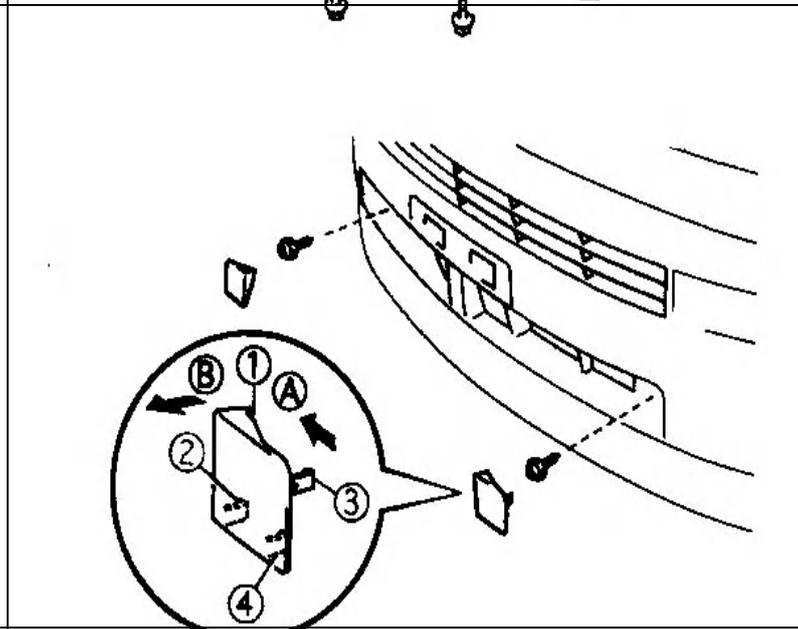
## ⑥ ATFクーラー取付手順

### フロントバンパー脱着

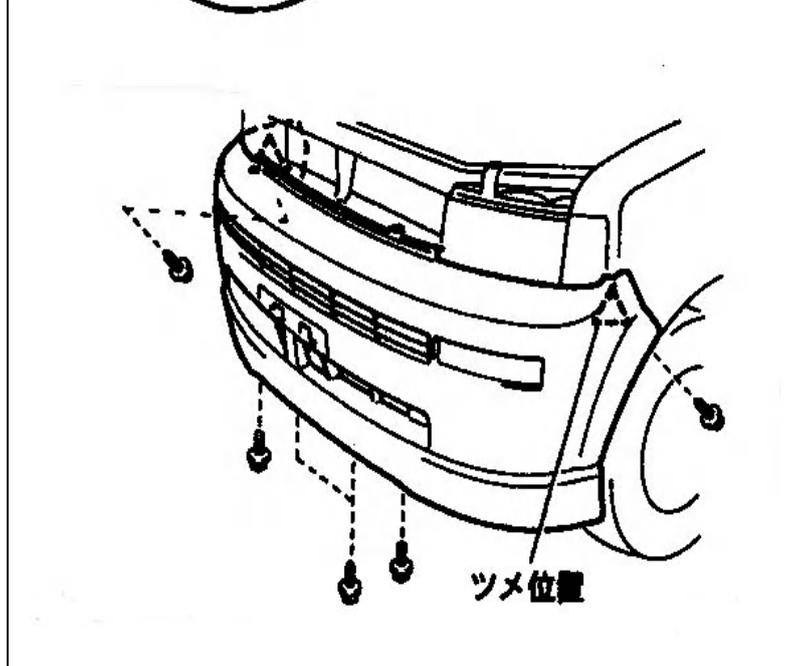
- 1 ラジエターグリル取りはずし  
(A) クリップ3個を取りはずし、ラジエターグリルを取りはずす。
- 2 フロントフェンダライナ取りはずし(R、L)  
(A) スクリュー各2本を外し、フェンダライナー(一部)を取りはずす。



- 3 フロントバンパーASSY取りはずし  
(A) フロントバンパエクステンションを矢印Aの方向に引っ張り1,2のツメをはずす。  
(B) 矢印Bの方向に引っ張り3,4のツメをはずしてフロントバンパエクステンションを取りはずす。  
(C) ボルト2本を取りはずす。



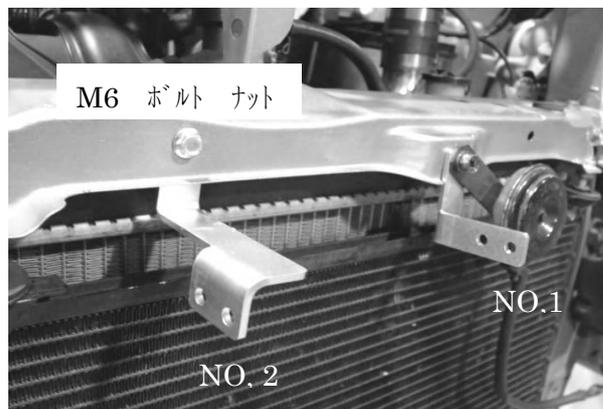
- (D) ボルト2本及びスクリュー4本を取りはずす。
- (E) ツメのかん合及びコネクタ(フォグランプ付車)をはずし、フロントバンパーASSYを取りはずす。
- (F) フォーンの配線をとめているバンドをはずし、ボルト4本をはずして、バンパーエネルギーを取りはずして下さい。



## ATFクーラー コア取付

### ATFクーラー コアステー取付

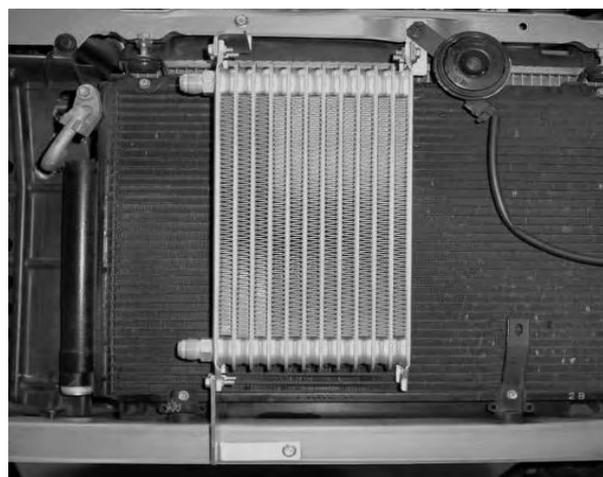
- (A) NO, 1ステーを右図のようにフレーム手前側の面に取付、その上にフォーンステーをはさみ純正ボルトで仮止めしてください。
- (B) NO, 2ステーを右図のようにフレーム奥側の面に取付、付属のM6 ボルト ナットで仮止めしてください。



- (C) NO, 3ステーをラジエーター下部に付属のM6 ボルトで仮止めしてください。



- (D) ATFクーラーを右図の向きでステーに合わせ、付属のM6ボルト ナット各6個で仮止めし、ボディに対して水平に合わせた後ステー、コア部の各ボルトを締付け固定して下さい。その際、ボディに干渉しないよう注意して下さい。



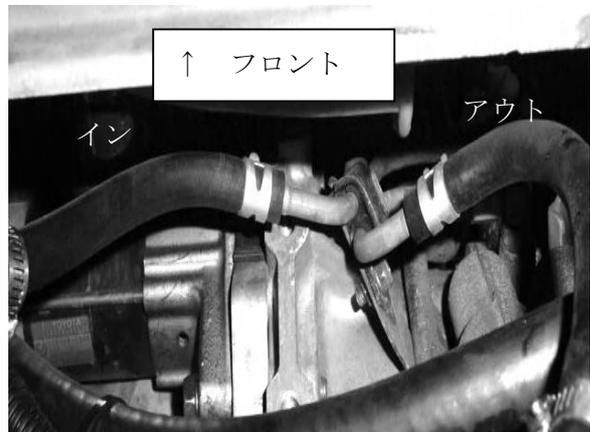
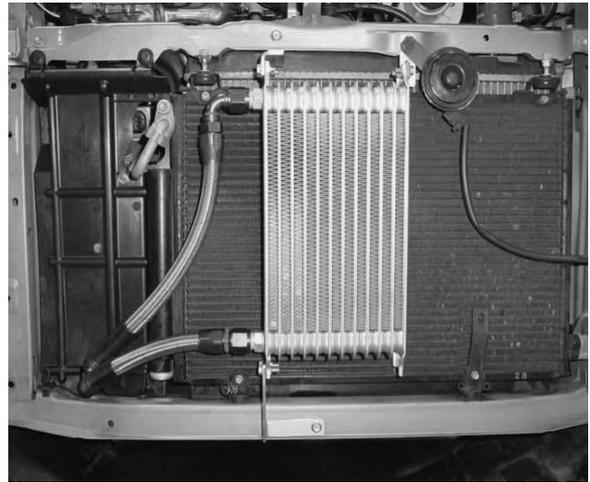
## ダストカバー加工



- (A) クリップ2個をはずし車両からダストカバーを取りはずして下さい。カバー下部に、上図を参考にアールズホース2本分通る穴を加工して開け、再度車両に取付けて下さい。

## ステンメッシュホース取付

- (A) 付属のステンメッシュホースに付属の  
コルゲートチューブをボディと干渉  
する部分に巻き、タイラップでとめて  
ください。
- (B) ステンメッシュホースを、加工したダ  
ストカバーの穴に2本通し、フィット  
ィングの90°をコア上部に、ストレ  
ートをコア下部に取付、しっかりと締  
め付けてください。(このときフィット  
ィングに少量のオイルを塗ってくだ  
さい。(カジリ防止のためです。))
- (C) ATミッションからラジエター下部へ  
通っていますゴムホースをラジエター  
下部側からはずし、ラジエター下部側  
にφ6ゴムキャップでプラグをして下  
さい。ホースをはずす際、ATFが流  
れ出ます。注意して作業を行ってくだ  
さい。
- (D) (C)ではずしました、ゴムホースを  
車両下側からのぞいて右側のゴムホ  
ースアウト側をコア上部へ行く、アール  
ズホース(90°フィッティング側)  
と連結し、(E参照)ゴムホース  
イン側をコア下部へ行く、ステンメッ  
シュホース(ストレートフィッティン  
グ側)と連結してください。
- (E) 異形パイプを使用し、純正ゴムホース  
側にφ8、ステンメッシュホース側に  
φ14を挿し込み、トライドンバンド  
で各々締め付けて連結してください。  
もう一方も同じように連結してくだ  
さい。なお、ステンメッシュホースの切  
れ目のメッシュ部は手に刺さりますの  
で注意して作業を行ってください。



## フロントバンパー取付

ステンメッシュホースが遊ばないようにしっかりとタイラップ等で固定し取付を行ってください。

フロントバンパーエネルギー、フロントバンパーを取りはずしと逆の手順で取付して下さい。その際に、コア、ステンメッシュホースがフロントバンパー、バンパーエネルギーに干渉しないよう確認し、取付してください。



## エンジン始動前の確認

(A) エンジン始動前にもう一度パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認して下さい。

(B) ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認して下さい。



## ⑦ 取付後の確認

油量を適量まで入れてください。

(A) 油量の点検はレベルゲージで行います。ゲージにはH（ホット）とC（クール）の面がありますが油温70℃以上の場合はH側のゲージで行ってください。またATFを入れ過ぎますと、ギアによりATFが攪拌（かくはん）されて泡立ってしまい作動不良を起こします。注意して下さい。点検は平地で行ってください。

(B) ATFを注入後、ブレーキペダルを踏み、エンジンを始動させます。アイドル回転状態でシフトレバーをPからLまでの各レンジにゆっくりシフトした後、Pレンジに戻してください。その後、Pレンジ、アイドル回転状態でレベルゲージを抜き、ウエスなどでオイルを拭き取り、再度挿入してオイルがレベルゲージの[HOT]の範囲にある事を確認して下さい。

(C) Pレンジ3000回転で30秒ほど回し、ホース連結部、アールズフィティング部からオイルの漏れ、にじみのないことを確認して下さい。

## ⑧ 故障と思う前に

- 部品は正常に、しっかりと取付られているか確認して下さい。取付が不十分な場合には、動作不良の原因となります。
- ホース、フィッティング、コア取付部からATFが漏れていないか確認して下さい。ATFが漏れている場合には動作不良の原因となります。最悪の場合はオートマトランスミッションが動作しなくなり危険ですから、至急修理して下さい。

## ⑨ メンテナンス

- 本製品はノーマル車以上に冷すことを目的に作られています。市街地走行で約10°前後、高速域で約15°温度上昇を抑えられますが、走り方、負荷のかけ方で、許容を超えて温度上昇してしまう場合が考えられます。一般的なATFは120°を越えた辺りから、オイルが変化しはじめます。一度変化しはじめたオイルは冷しても、元に戻ることはないので、ATFの交換をおすすめします。
- 近年ではFF車が多く普及してきたため、ATFはミッションオイルとデフオイルの役割を果たさなければならなくなってきました。負担も増え、時間が経過しますと、酸化劣化し、スラッジ等を発生させる可能性も出てきます。10000km～20000kmでのATF交換をおすすめします。





製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

■連絡先：(株)ブリッツ

■TEL：0422-60-2277

■住所：東京都西東京市新町4-7-6

■FAX：0422-60-0066